

平成 22 年度 第 1 回北海道ブロッククラブミーティング 2010 開催報告

日時：平成 22 年 6 月 5 日（土） 13:15～17:00

会場：北海道立総合体育センター きたえーる 大研修室

【はじめに】

平成 22 年 6 月 5 日（土）北海道立総合体育センター きたえーる 大研修室にて、第 1 回北海道ブロッククラブミーティング 2010 が開催された。北海道内の 13 クラブ（創設 1 年目：9 クラブ、創設 2 年目：2 クラブ、設立済クラブ：2 クラブ）が集まった。参加者は、創設支援クラブ代表者をはじめ、北海道クラブ育成アドバイザー及び体育協会担当者の協力を得て、計 37 名であった。

今回のミーティングは、事例発表「クラブのイ・ロ・ハ」とフロアディスカッションで構成した。設立に向けて準備活動しているクラブが抱えている不安や課題をどうやって乗り越え、解決していくかについて、今後の活動の参考となるよう先進クラブ関係者からの事例紹介と参加者との質疑応答を行った。



事例発表【クラブのイ・ロ・ハ】

コーディネーター：

大沼 義彦氏（北海道大学大学院教育学研究院）

事例発表：

るもいスポーツクラブ「このゆびとまれ」

クラブマネジャー 伊端 隆康氏

よりづか☆ちょいスポ倶楽部

副理事長 久保田 智氏

* 3 名とも北海道ブロック地方企画班員

まず、大沼班員より今回のクラブミーティングの趣旨を説明した。今回は、設立に向けた活動において、『これだけはやった』ということを次の 4 つの項目ごとに説明いただき、創設活動において、「何をすればよいか」をイメージしていただいた。

- ・ クラブ運営の留意点
- ・ 具体的に何をした
- ・ 成果（メリット）はあったか
- ・ 各クラブの事情



伊端氏は、運営の留意点として、身の丈にあった活動に徹すること、住民の立場でニーズにあった事業展開を心がけること 「楽しむ」ことを主眼に置くこと等、自分達でやれることを、住民の目線で楽しく運営していくことの大切さを説明された。その中で、具体的に行ってきたこととして、初心者教室や無料お試し会の開催でニーズを探りながら、小学生向けのスポーツ体験塾や託児付き教室やシェイプアップ、健康増進といった女性に喜ばれる事業展開、病院・健康推進事業や文化事業（そば打ち、読み聞かせ）との連携事業を行うなど、地域で喜ばれる事業の検討について説明された。成果としては、会員が 450 名、スポーツ実施率の向上、多くの市民に喜ばれたことを挙げられ、またクラブの運営面において、他クラブとの交流や人脈の大切さを説明された。また、留萌市の財政難という状況において、クラブの運営組織である体育協会がスポーツ施設の指定管理者として運営することで、施設活用と予算削減の両面において効率が上がっていることを説明された。

久保田氏は、運営の留意点として、①子どもたちが健やかに育つ環境、②住民が健康であり続ける環境、③住民一人ひとりの顔が見える環境の 3 点を挙げ、クラブの活動地域である北広島町大曲地区四里塚町内会におけるクラブの目指すところを明確にし、居心地の良いクラブをどうやって実現していくかについて説明された。具体的には、町内会事業の企画・運営をクラブで行うことで町内会館をクラブハウスとして利用できたこと、他で行われていない「タグラグビー」をメインとした種目展開、地域や会員のやってみたいことをクラブとして運営し、ニーズにこたえていること、子ども会に代わって地域の行事やイベントの企画・運営を行っていることを説明された。成果としては、会員の増加、他のクラブや大学、地域団体、地元企業との連携が可能となったこと、クラブに参加していた小学生が中高校生となり、その世代のクラブ参加が増加してきたことを挙げられた。

それぞれの説明において、地域の現状をよく理解し、自分達ができることや地域のニーズがどこにあるかを把握し、クラブの事業として展開していることが、共通していた。これからクラブを設立していく方々にとって、事例をそのまま当てはめていくことは難しいが、それぞれにおかれている状況や地域のニーズがどこにあるかを良く見極め、クラブの事業に展開していく考え方は大いに参考となった。

【フロアディスカッション】

コーディネーター：

大沼 義彦氏（前掲）

助言者：

山本 豊氏

（鶴野地区いい友スポーツクラブ会長）

伊端 隆康氏（前掲）

久保田 智氏（前掲）

林 良彦氏

（標津スポーツクラブ「すぽっと」理事）



* 5名とも北海道ブロック地方企画班員

続いてのフロアディスカッションでは、事例発表を聞いた参加者から、その場で質問や現在不安に思っていることを記入いただき、その内容に対して助言者が答えていく方法により進めていった。クラブ運営に関わる多くの質問が寄せられ、特に会費のあり方（会費のみ徴収する、小額の会費と参加料を徴収する、保険料を含んで徴収する等）、活動場所（指定管理、学校施設の調整等）プログラム（具体的な内容、時間数）、指導者（クラブ内での研修、外部派遣等）、行政との関係について複数の質問があった。

最後には、参加されたクラブより1名ずつ、感想やこれからのクラブづくりに向けた抱負等を発表いただき終了した。